

# JA厚生連の事業・活動の優良事例集

JA全厚連



# JA厚生連取組事例一覧



## 医療事業厚生連

JA北海道厚生連	北の総合診療医の養成への取組み
JA秋田厚生連	秋田県内初の救急ワークステーションの設置
JA福島厚生連	白河総合診療アカデミー～「ふくしまモデル」を日本へ～
JA茨城県厚生連	JA共済連との健康推進プロジェクト
JAかみつが厚生連	PFMIによる入退院支援
JA佐野厚生連	農園を活用した精神科デイケア
JA神奈川県厚生連	県下JAとの連携 農協まつり等への参加
	地産地消への取組み
JA長野厚生連	病院再構築とまちづくりへの貢献
JA新潟厚生連	粟島遠隔テレビ電話診療の実施
JA富山厚生連	ゲームで簡単に農機運転能力を測定
JA岐阜厚生連	外国人技能実習制度を活用した介護員の人材確保
JA静岡厚生連	よろず相談
	渡航ワクチン外来

JA愛知厚生連	たすけあいプロジェクト
JA三重厚生連	障害者雇用の場を創造
JA広島厚生連	膵臓がんの早期診断プロジェクト「尾道方式」
JA山口厚生連	メンタルヘルス相談
JA徳島厚生連	充実した安心できる母子ケア
JA香川厚生連	健康増進・疾病予防への積極的な取り組み
JA高知厚生連	医療・保健・介護が一体となった運営
JA大分厚生連	がんを生きる人を支える緩和ケア病棟
JA鹿児島県厚生連	ママ友健診の実施・対話支援機器の導入
	関係団体との意見交換

## 健康管理厚生連

JA岩手県厚生連	生活習慣改善事業:いきいきチャレンジの会
JA群馬厚生連	普通に暮らせるしあわせ
JA千葉厚生連	県内ほぼ全域で巡回健診等を実施
JA東京厚生連	脳検査の積極的な実施
JA山梨厚生連	がん検診キャラクター「謙くん」「信くん」による啓発活動
	人間ドック時の昼食に山梨県産の農産物の魅力をPR
JA福井県厚生連	県民の健康づくりに貢献
JA滋賀厚生連	スピーチプライバシー始めました！
JA兵庫厚生連	JA組合員の健康・長寿を応援！:3B健診実施
	JAグループをPR！:検診車を活用し、連携推進
JA島根厚生連	「情報発信」の強化や「新規取組」の実施
JA岡山厚生連	JA組合員、役職員の健康を守る
JA愛媛厚生連	健康増進活動を積極的に展開
	JA女性部の「コーヒーマスターズ」による乳がん検診車整備
	ISMSIによる情報セキュリティ対策
JA熊本厚生連	日帰り人間ドックによる総合的な健康診断

# 北の総合診療医の養成への取り組み

## JA北海道厚生連 倶知安厚生病院

幅広い病気に対応する診療能力を備え、地域に暮らす人々の健康をあらゆる面から支えるオールラウンダー。それが『総合診療医』です。

### ○ 倶知安厚生病院とは

国際的なリゾート地でもあるニセコリゾートを抱え、農業はジャガイモの産地としても有名な人口約1万5千人のまちにある地方の病院

### ○ 病棟、外来と救急など幅広く対応

総合診療科では1日に120人位の外来患者が受診しているほか、救急車で搬入される患者の多くを総合診療科で受けている。

具体的な業務内容は、外来(新患)、救急、透析、人間ドックや巡回検診。週に1回、訪問診療や特別養護老人ホームの嘱託医も担当。地域から頼まれた場合には産業医としての仕事も行っているほか、周辺の町立診療所などの先生が出張などで不在になる場合、診療支援も行っている。

### ○ 地域包括ケア病棟も担当 退院支援・地域との調整役

診療圏の需要拡大にともない、地域包括ケア病棟の病床も28床に増やし、病棟の看護師さんとケアマネジャーさんとのサービスの調整や、患者さんが飲んでいる内服薬の調整なども行っている。

# 秋田県内初の救急ワークステーションの設置

## JA秋田厚生連 大曲厚生医療センター

### 消防本部との連携によりさらなる救急サービスの向上をはかる

- 救急需要が増加する中、救急隊員の知識・技術を向上させ、質の高い救急サービスを提供するため、大曲厚生医療センターと大曲仙北広域消防本部が連携し、救急ワークステーションを設置。
- 消防本部から大曲厚生医療センター内にある救急ワークステーションに救急隊員を派遣、救急隊員の知識や技術を向上させる教育の拠点となる。
- 救急隊員が医師や看護師から医療環境下で教育を受けることで、救急隊員の処置技術が向上して、質の高い救急サービスを提供することができる。



大曲厚生医療センターに設置されている救急ワークステーション 救急車と救急隊員が控えている。

# 白河総合診療アカデミー～「ふくしまモデル」を日本へ～

白河厚生総合病院(JA福島厚生連)

総合診療と臨床研究の両方を学べる環境で、次世代の日本の医療を担う総合診療医の育成を目指す。

## 白河総合診療アカデミーとは

- 2015年4月より、福島県立医科大学と福島県厚生農業協同組合連合会が、総合診療医の人材育成と診療や予防に活かす研究を発信するため臨床研究イノベーションセンターに設置した寄付講座。
- 白河厚生総合病院が診療・教育の実践現場であり、「白河総合診療センター」の名称で地域に展開。



## 白河厚生総合病院(JA福島厚生連)

**Mission：超高齢社会を迎えた日本の医療に対応する以下の3つの問題解決能力を有する医師を育成**

- 病院総合診療と地域医療、両者に求められる主治医力
- そして、両者をつなぐ対話力
- エビデンスを“調べる”、“使う”だけではなく、自ら“創る”力

## プログラムの特徴

### ○総合診療教育

- 国内有数の臨床研修病院の辣腕指導医陣が客員・特任教授として研修プログラムの策定を支援し、定期的な出張回診を提供
- 病院総合診療を主軸として、救急や地域医療も包含する総合診療後期研修プログラムの提供

### ○臨床研究教育

- 臨床研究実績・教育蓄積のある福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター・京都大学医療疫学教員による、臨床研究指導
- Johns Hopkins大学院等の海外名門大学と連携した、臨床研究遠隔学習プログラムの提供

# JA茨城県厚生連の取り組み

## JA共済連との健康推進プロジェクト



安心して暮らしていける地域社会づくりを目指して、さまざまな活動に取り組んでいる。

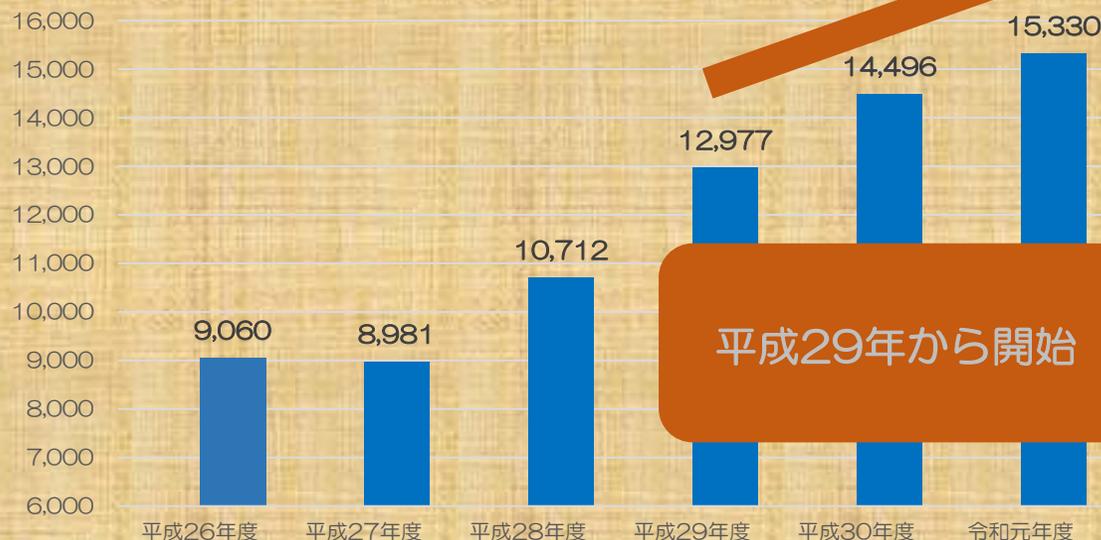
### JA共済の地域貢献活動による助成金額

- ①人間ドック助成額 10,000円
- ②脳ドック助成額 5,000円
- ③肺ドック助成額 5,000円

⇒ **1人最大20,000円助成**

対象者：地域住民  
(農協健康保険組合の被保険者の利用は除く)

## ●人間ドック受診者数の推移



## ●各JAおよび各連合会と連携した周知活動

- ・店頭窓口でのリーフレット設置
- ・広報誌への掲載
- ・女性部への利用促進

共済担当部署

信用担当部署

渉外活動のツールとして使用



本会 事業管理部

- ・営業活動のツールとして使用
- ・JA関連イベントで配布

# PFMによる入退院支援

JAかみつが厚生連 上都賀総合病院

2012年に患者支援センター(PFMセンター)を立ち上げ (PFM=Patient Flow Management)

## 3つのカンファレンスを通して質の高い退院支援を実践

※事前に患者情報をスクリーニングし、退院調整が必要または保留と判断された場合に実施

### ①入院時退院支援カンファレンス

看護師やMSW、療法士らで構成する退院支援チームによる最初のカンファレンス(各病棟週1回)

### ②退院調整カンファレンス

医療者側の見解と患者・家族の意向のすり合わせの場

### ③拡大カンファレンス

退院後、ケアマネジャーら地域の支援者を交えた調整の場



## 病院経営と患者満足を両立

病床稼働率の向上: 72.8% (2012年2月)→92.9%(2016年2月)

平均在院日数の短縮: 17.2日(2012年2月)→15.8日(2016年2月)



入院時退院支援カンファレンス

# 農園を活用した精神科デイケア

JA佐野厚 佐野厚生総合病院

2011年に近所の田畑約7,500㎡を購入

## 農作業を精神科デイケア患者のリハビリに活用

- 統合失調症や適応障害の患者らのリハビリに農作業プログラムを採り入れ、毎日約20人の患者が参加。
- 地元JAの指導を受けて、米や野菜、果物など年に数十種類の作物を栽培。
- 農作業のサポート要員として、障害者2名を専従で雇用。



野菜の栽培を行う患者ら

- ◎ 患者の能力に応じた役割を割り当て、集団行動への適応を促進。
- ◎ 五感の刺激で、リラックス効果や集中力を高める。  
⇒ 注意欠如や多動性などの症状の改善を図る。

# 県下JAとの連携 農協まつり等への参加

## JA神奈川県厚生連

- 県下JAが開催する農業まつりや農機具展示会等へ厚生連ブースを出展
- 医師・看護師・保健師等による健康相談、血管年齢測定、肌年齢測定、骨密度測定、血圧測定を実施
- ドックパンフレットおよびボールペン、ポケットティッシュを配布しドック受診を推奨
- 令和元年度は県下5JAのイベントに参加

実績:延べ7日参加、延べ3,412人に健康診断等を実施

県下JAとの連携強化  
組合員への厚生事業のアピール  
ドック・農協健診の推奨

# 地産地消への取り組み

## JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院

- 平成17年から地産地消の取り組みを開始
- 単調になりがちな入院生活の中で旬の食材を使い季節感を提供
- 地元JAを通じて農家の方々から低農薬でおいしい採れたて新鮮な野菜を当日直接配達
  - （伊勢原協同病院では、週1回栄養室と農家と打ち合わせを実施）
- 職員には季節の野菜を組み合わせた野菜を販売する頒布会を週1回実施

病院での食事は治療のひとつであり、楽しみのひとつ  
地産地消で地元農家に貢献

# 病院再構築とまちづくりへの貢献

JA長野厚生連 佐久総合病院

## 病院単体で行う「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換

1944年の開設以来、佐久病院(現:佐久総合病院)は若月俊一先生主導のもと全国に先駆けて地域医療を担ってきた。

2000年、病院単体で行う「病院完結型医療」から「地域完結型医療」を目指し、再構築計画が立てられ、地方自治体と一体となってすすめられた。

### 理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で、医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、生きがいある暮らしが実現できるような地域づくりと、国際保健医療への貢献を目指します。

### 行動目標

1. 第一線医療の充実と高度専門医療の向上をはかり、地域完結型医療体制の確立を目指します。
2. 農業と地域社会の問題を直視し、メディコ・ポリス構想の精神を継承して、地域の内発的発展に協働します。
3. 研究と教育は病院の重要な役割であることを自覚し、佐久病院らしい医師教育、職員教育および研究活動の充実をはかります。
4. プライマリ・ヘルス・ケアを包含する農村医学の考え方を学習し、実践するとともに、発展途上国の国際保健医療に貢献します。
5. 患者さんを第一に考え、医療の質向上および患者安全、職員満足の向上を目的とする活動を推進します。

# 病院再構築とまちづくりへの貢献

## JA長野厚生連 佐久総合病院

2019年3月に佐久総合病院の再構築事業を完了

### ①佐久総合病院(本院)…2019年に改築事業完了

一次・二次救急から回復期、慢性期、在宅診療などを行い、地域に密着した医療を提供する病院。人間ドックや出張健診など保健予防活動にも力を入れ、保健・医療・福祉が繋がった地域包括ケアを実践している。



### ②佐久医療センター…2014年新築・開院

急性期・高度専門医療を担う紹介型の病院。「地域医療支援病院」をはじめ、「災害拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」などの指定を受け、長野県東信地域における基幹病院としての役割を担っている。



# 栗島遠隔テレビ電話診療の実施

JA新潟厚生連 村上総合病院

## 医師がいない離島を遠隔テレビ電話診療で医療サポート

- 沖合35km、面積10平方kmの離島、栗島(栗島浦村:人口370人)には医師がいない。5月から9月は、村上総合病院の協力によって月3~4回の出張診療、年1回の総合健診を実施。
- 村上総合病院と栗島を、大型のテレビ電話装置で結び、村上総合病院の医師による、週2回の遠隔テレビ電話診療を行っている。
- 栗島浦村に救急患者が発生した際は、365日、24時間いつでも遠隔診療が実施できる体制により、栗島浦村の医療をサポートしている。



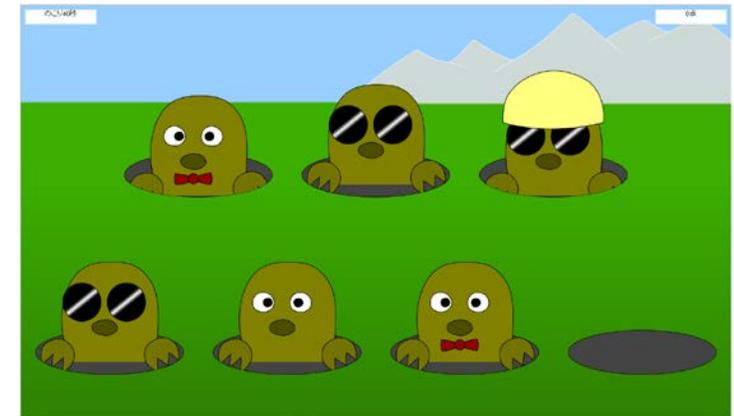
村上総合病院に設置してある遠隔テレビ電話システム

# ゲームで簡単に農機運転能力を測定

## JA富山厚生連

### モグラたたきで、危険に対する「認知⇒判断⇒操作」の一連の機能を評価

- 高齢者の農業機械や自動車運転の際、危険に遭遇した時、危険を回避するための能力が衰えていないかを簡単に確認するための、タブレット端末用のゲームソフトを開発。
- 反応の早さや正確さをチェックし、高齢者の危険に対する「認知⇒判断⇒操作」の一連の機能を総合的に評価。
- 生活機能に問題のある人、自動車やトラクター運転で問題のある人の得点などが明らかに低い傾向にあることを確認した。
- ソフトについて、約1500人にゲームとアンケートを実施し、その有用性について確認した。現在、結果は紙ベースで出しているが、自動判定できるようにソフトを改修中。



得点モグラ、減点モグラが次々に現れる。得点モグラのみを叩くようにする。ゲーム時間は1分間、3回行って最も高い得点で評価する。

# 外国人技能実習制度を活用した介護員の人材確保

## JA岐阜厚生連

外国人技能実習生の積極的・継続的な受け入れ体制を構築！

介護員の安定的な確保により、病棟での看護師負担の軽減をめざす！

### 【技能実習制度】

- 開発途上国等の外国人を日本で一定期間(最長5年間)受け入れ、就労により修得した技術を自国に広げていくことで、**国際貢献**に寄与する。
- 平成29年11月より技能実習制度の対象職種に介護職が追加  
⇒**医療機関の慢性的な人員不足の介護員の人材確保に繋げる！**

令和2年は、  
18名入国予定

ベトナムからの実習生受入れの流れ

H30.8

現地での  
面接実施

H30.9月～R1.6

送り出し機関  
(ベトナム)にて  
日本語、介護等の  
教育

実習生  
入国

R1.7

監理団体(日本)  
にて、日本で生活する上  
でのルール、日本語・介  
護等について教育

R1.8

病院へ配属  
4病院へ各3名

# 外国人技能実習制度を活用した介護員の人材確保

JA岐阜厚生連

～技能実習生がいきいきと働く様子～



# よろず相談

## JA 静岡厚生連（各病院・施設）

病気や介護、健康維持などの疑問やご相談にお答えします。

- JA 静岡厚生連では、病気や介護、健康維持などに関することの相談に対応するため、各病院・施設に「よろず相談窓口」を設置している。
- 相談には、看護師やケースワーカーなどの職員が対応している。



※JA 静岡厚生連ホームページより抜粋。



お近くの窓口、またはお電話にてご相談ください。

よろず相談窓口	受付窓口	電話番号
遠州病院	総合案内	053-453-1111
静岡厚生病院	医療相談室	054-271-7177
清水厚生病院	地域連携センター	054-366-3333
リハビリテーション 中伊豆温泉病院	医療福祉科	0558-83-3333
介護老人保健施設 きよみの里	事務部(1階窓口)	054-369-7700
特別養護老人ホーム いはらの里	相談担当	054-366-3853
本所	管理部総務課	054-284-9854

相談無料

受付時間
平日 8:30-17:00
土曜(第1週) 8:30-12:30

※クリアファイルを作成し、地域住民等へ配布している。

# 渡航ワクチン外来

## JA 静岡厚生連 静岡厚生病院

- 静岡厚生病院では、2013年12月に渡航ワクチン外来を開設。
- 日本では定期接種に組み込まれておらず、市販もされていないワクチンを輸入し、予防接種を行っており、主に海外赴任や出張の目的で利用されている。
- 現在では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、日本渡航医学会の指導のもと、渡航用PCR検査の実施、英文診断書の発行も行っている。

### 【海外渡航で検討する予防接種一覧】

地域	予防接種
アジア	破傷風、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、髄膜炎等
オセアニア	破傷風、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、腸チフス、コレラ等
北米	破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病
カリブ海	黄熱、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、腸チフス、コレラ等
中米	黄熱、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、腸チフス等
南米	黄熱、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、腸チフス等
東欧	破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、髄膜炎、ダニ脳炎等
西欧	破傷風、A型肝炎、ダニ脳炎、髄膜炎等
北欧	破傷風、A型肝炎、狂犬病、髄膜炎等
中東	破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、腸チフス等
アフリカ	黄熱、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、腸チフス等

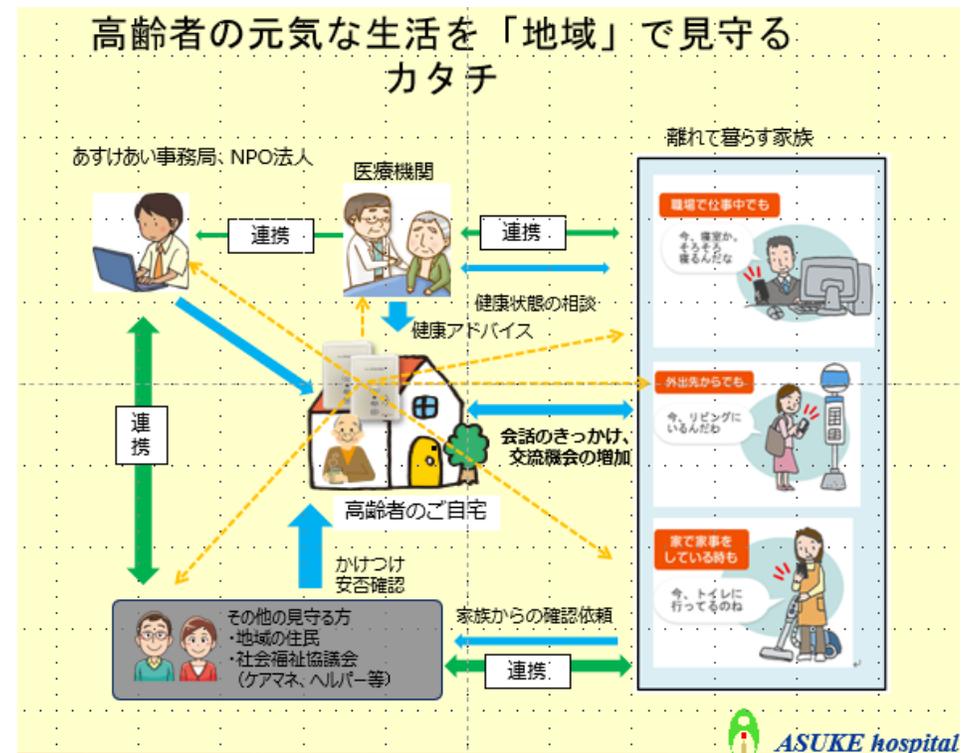
※JA静岡厚生連 静岡厚生病院ホームページより作成。

# たすけあいプロジェクト

## JA愛知厚生連 足助病院

### 人口減少、少子高齢化がすすむ地域における地域包括ケアシステム

- 足助病院では、名古屋大学・豊田市とともに、中山間地域の住民、特に高齢者の生活の質や地域の持続性を向上させることを目的とした「たすけあいプロジェクト」に取り組んでいる。
- 健康見守りサービスでは、独居高齢者の住居の人感センサーの情報を、離れて暮らす家族と足助病院が共有し、安否の見守りと健康アドバイスのサービスを提供している。
- 高齢者の生活リズムの変化をより早く察知することで、体調の変化や気持ちの変化が予期することができ、健康維持に役立っている。



# 障害者雇用の場を創造

## JA三重厚生連 特例子会社三厚連ウイズ

平成25年4月 法定雇用率達成に向けた取り組みの一つとして設立。

### 特例子会社とは

→障害者雇用促進法第44条第1項にもとづく、障害者雇用に特別の配慮をした子会社。

メリット

- ・子会社の障害者雇用率を親会社に合算して実雇用率を算定することができる。
- ・国および県の助成金を活用することができる。

法定雇用率を達成することで

○社会的責任を果たすことができる

○罰則金がなくなる

三重県厚生連の障害者雇用率: 1.2%(平成22年度)→2.96%(平成30年度)

※平成30年度法定雇用率 2.2%

# 膵臓がんの早期診断プロジェクト『尾道方式』



## JA広島厚生連 JA尾道総合病院

2007年より尾道市に由来から根付いている病診連携システムを活用し、中核病院と地域連携施設が協力して膵臓がんの早期診断を目指す、医師会主導のプロジェクトである。

早期診断例の増加、外科的切除率の大幅な向上とともに、尾道市の膵臓がんの5年生存率(治療開始から5年生存している割合)は、全国平均の3倍近い20%となっている。

### ◆活動内容

- 【情報提供】 地域連携施設への啓発活動（危険因子、腹部超音波（US）撮像法の講習、超音波内視鏡（EUS）の有用性の啓発等）
- 【紹介促進】 異常所見を認めた場合、中核病院に積極的に紹介し、非侵襲的な画像診断（CT、MRI、EUS）などを実施。所見に応じて、EUSガイド下穿刺吸引法（EUS-FNA）や内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）を用いた細胞組織診などを実施。
- 【院内外活動】 診断率向上のためにスタッフへの教育・啓発・協働をおこなった。

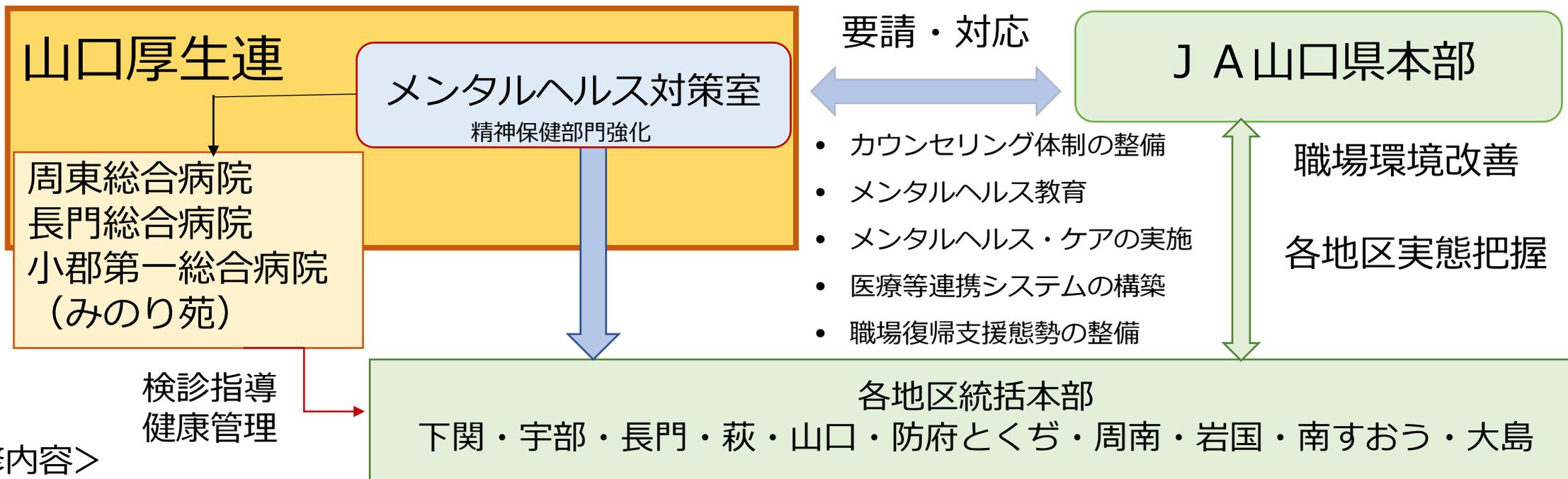
## ◆活動結果

2007年1月1日から2017年6月30日の間に、12307例の膵癌疑いの受診者から555例の膵癌を組織学的に確定した。そのうち、Stage0に該当する膵上皮内癌が24例、Stage Iが27例と、短期間に多数の早期診断症例を診断した。早期診断例の増加は確実に予後の改善に繋がっており、プロジェクト開始以降、5年生存率は2007年以降の診断症例で20%に迫る大幅な改善を認めており、広島県平均の8.5%、全国平均の7.5%を大きく上回っている。尾道方式は国内の他地区（大阪キタ、松江市、帯広市、川崎市、岸和田市、鹿児島市など）でも同様の取り組みが開始されている。



# メンタルヘルス相談

## JA山口厚生連



### <研修内容>

- ・ 過重労働・労災・産業保健に関する知識の付与
- ・ ストレス
- ・ 精神疾患の概要
- ・ 自殺予防
- ・ カウンセリング技法
- ・ キャリア・カウンセリング
- ・ 人事制度との連携
- ・ 安全衛生委員会との連携
- ・ 心の危機
- ・ ストレス
- ・ セルフ・コントロール
- ・ 災害と心のケア
- ・ PTSD
- ・ 心理学のビジネスへの応用
- ・ 性格検査等心理テストの活用

### 元年度時点の実績

カウンセリング202件（累計1833件）  
 ストレスチェックは、4,784名（8年間で累計32,808名）  
 教育研修5件（累計171件）  
 採用適性検査29件（累計327件）実施

# 充実した安心できる母子ケア



## JA徳島厚生連 吉野川医療センター

産科病棟に生児室と病児室を併設しており、一度に10名の新生児を受け入れる体制を構築。

LDR室(分娩から退院まで母子が一緒に過ごせる病室)をはじめとしてアメニティーの高い設計となっており、お産のために入院される方には快適な空間となっている。

産む「女性」・生まれてくる「命」そして誕生を迎える「家族」が安心して出産と育児に臨めるように外来と病棟、地域の保健師と共に連携をとって一貫したサポートを行っている。

また、アドバンス助産師や骨盤ケアアドバイザーなどの有資格者を中心に充実した安心できる母子ケアを提供している。

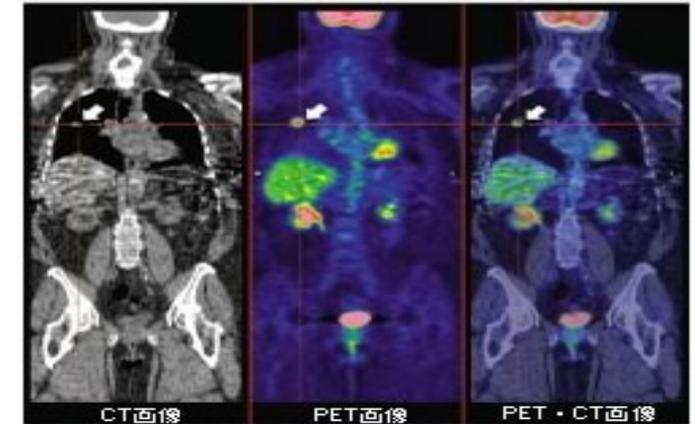
# 健康増進・疾病予防への積極的な取り組み

JA香川厚生連 滝宮総合病院

精度の高いがん検診を推進

## 香川県下初「らせんCT検診車」を導入

- 生活習慣病検診車3台とらせんCT検診車を保有  
積極的な巡回健診を展開
- らせんCT検診車による精度の高い肺がん検診、  
PET-CTによるがん検診の積極的な推進
- 健康相談・保健指導に力を注ぎ、JA組合員・地域住  
民の負託に応える



PET-CTの画像 矢印の部が原発巣

PET-CT検査：PET(Positron Emission Tomography：陽電子放出断層撮影)とCT(Computed Tomography)の特徴を融合させた最先端の検査。PETはがん細胞にはっきりとした目印をつけることができ、CTは臓器の形をしっかりと映し出せる。二つの画像を重ね合わせることで正確な診断を行うことができる。

# 医療・保健・介護が一体となった運営

## JA高知厚生連

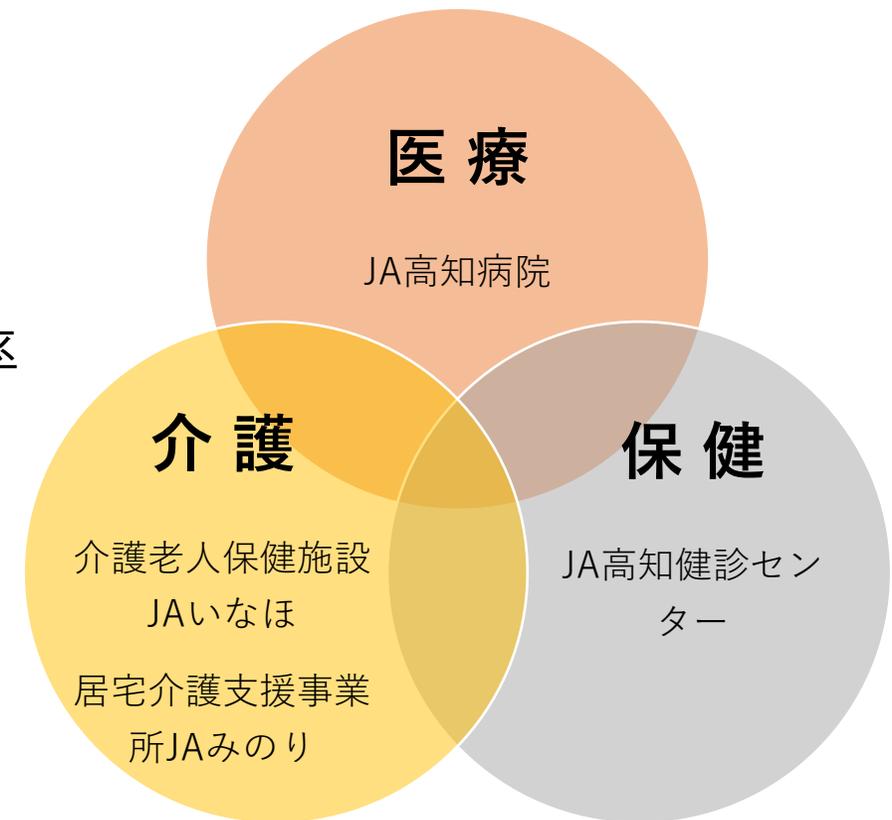
○JA高知病院には、施設内に「JA高知健診センター」を、別棟の「介護老人保健施設JAいなほ」には、施設内に「居宅介護支援事業所JAみのり」をそれぞれ併設。

○医療・保健・介護の3事業が一体となった効率的な運営

「資産（職員および医療機器）共有」

- ▶ 医師を含む職員の人事往来や協力体制
- ▶ 病院、健診センターでの医療機器の共同利用

「顧客（患者、受診者、利用者）の内循環」



# がんを生きる人を支える緩和ケア病棟

## JA大分厚生連 大分県厚生連鶴見病院

### ○鶴見病院の緩和ケア病棟の理念

がんを生きる「人」を支えるケア～こころと身体、生活、つながりへの支援の実践～

#### ①鶴見病院の緩和ケア病棟では

「自宅・家」と同じように落ち着いて、自由に生活できる環境を提供します。  
医療スタッフのケアによる安心感を提供します。  
今までのがん治療とのつながり、家族とのつながり、自宅や地元(人・場所)とのつながりを大切に関わります。

#### ②病棟スタッフについて

医師(緩和医療学会 暫定指導医 赤嶺晋治、病棟専従医を含む)、  
看護師(がん看護専門看護師を含む)、薬剤師、理学療法士、作業療法士、  
臨床心理士、管理栄養士、社会福祉士などの多職種チームで患者さんとご家族を支えている。

#### ③拡大カンファレンス

退院後、ケアマネジャーら地域の支援者を交えた調整の場

### ☆鶴見緩和ケア病棟入院基準☆

1. 主治医が治癒を望めないと判断した悪性腫瘍の患者で苦痛の緩和を必要とされる。
2. 患者自身が病名・病状や積極的抗がん治療の中止について理解し、緩和ケア病棟の入院を希望。
3. 家族が緩和ケアについて理解し、患者の緩和ケア病棟への入院を了承している。



緩和ケア病棟のベット

# ママ友健診の実施・対話支援機器の導入等

## JA鹿児島県厚生連

### 各部門の取り組み

#### 【健康管理部門】

- 毎月第2・4水曜日のレディースデー(女性専用日)に、子連れでも気兼ねなく健診を受けられるよう、ママ友健診を実施している。
- 一部の市町村で結果報告会が中止になったことを受けて、Web上(YouTube)で健診結果の見方を公開している。

#### 【診療部門】

- 診察室・病棟など計7箇所に、難聴者向け対話支援機器(コミュニケーション)を導入し、難聴の方・高齢者に安心して受診いただいている。



ママ友健診に関するチラシ



薬局に設置しているコミュニケーション

# 関係団体との意見交換

## JA鹿児島県厚生連

### 会議等

#### 【厚生連運営委員会・同幹事会】

鹿児島県、大学、医師会、関係医療機関を対象に、本会事業のあり方について、専門的かつ公共的立場から助言をいただくなどの意見交換を行っている。

#### 【協力医療機関連携会議】

協力医療機関の代表者を対象に、医療機関相互の情報交換を行い、更なる連携強化や円滑な患者紹介等につなげている。

#### 【厚生事業にかかる組合長会議】

県下JAの組合長に対し、厚生事業を取り巻く情勢・課題、本会の取り組み等について協議・検討を行っている。



厚生連運営委員会・同幹事会



協力医療機関連携会議

# 生活習慣改善事業：いきいきチャレンジの会



JA岩手県厚生連

健康づくりを支えあう仲間づくり・地域づくりをめざす！

仲間と一緒に人間ドックを受診し、その結果をもとに、厚生連の保健師・管理栄養士と一緒に健康づくりに取り組む。

## 【効果】

- 自らの健診結果や生活を振り返り、現在の身体状況を知ることができる。
- より健康になるため、自分に必要な生活習慣の改善点に気づく。
- 健康づくりを支えあう仲間ができる(増える)。



JAいわて中央（志和）の女性部の方々と結成された“いきいきチャレンジの会”結成10周年記念座談会の様子

# 普通に暮らせるしあわせ

JA群馬厚生連 特別養護老人ホームみのりの丘

## 施設理念：普通に暮らせるしあわせ

施設はご利用者様お一人おひとりの日常生活の場であることから、職員は私服でご利用者様と接しています。

### <職員への助成>

職員業務服購入助成金交付内規により、年1回10,000円を限度に交付している。

### <研修助成>

介護職員初任者研修受講促進・費用助成要領により助成している。

### <研 修>

群馬県喀痰吸引等研修実施要綱に基づき、喀痰吸引等研修を特別養護老人ホームみのりの丘で実施している。

# 県内ほぼ全域で巡回健診等を実施

## JA千葉厚生連

- 組合員健診、JA役職員健診等を353会場で実施しており、県内ほぼ全域をカバーしている。また、組合員健診では、健診当日に健康相談の機会を設けることで、よりタイムリーな生活指導を行う「健診時健康相談」を実施している。
- 健診事後対策は、組合員やJA役職員等の事後指導を県内253会場で実施し、食生活教室(料理教室)、保健衛生大学、健康増進活動(移動健康教室)等の健康教育活動も県内57会場で実施している。
- 高齢者福祉事業は、訪問介護(利用者数)延べ476人、居宅介護支援(ケアプラン作成)延べ866件のサービス提供のほか、介護保険事業実施JAへの指導・支援を行っている。

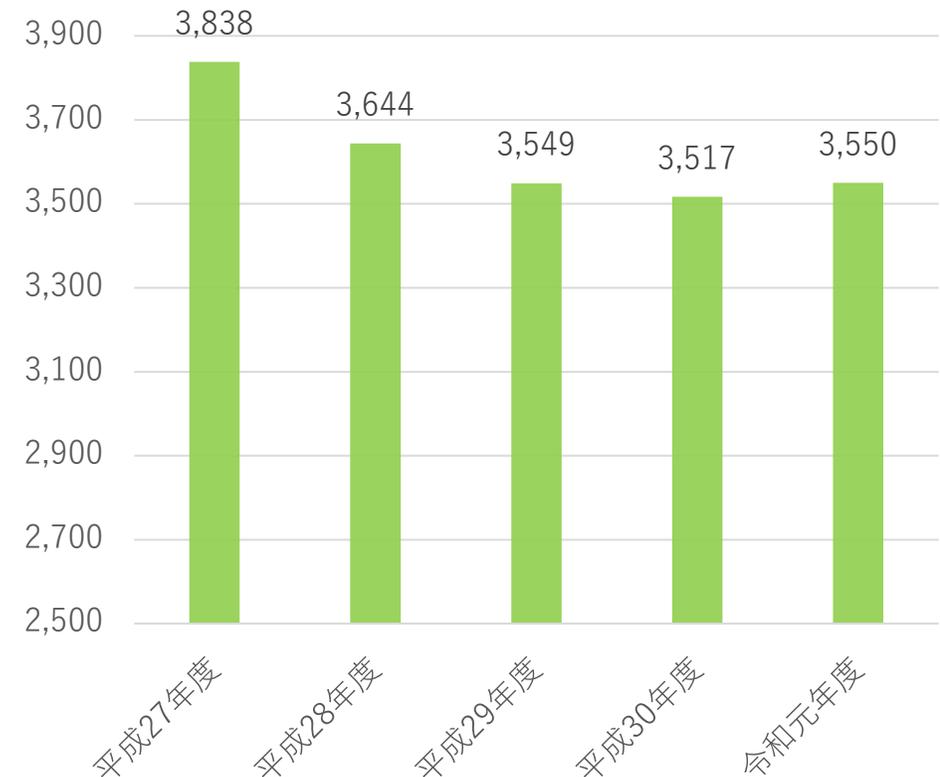
# 脳検査の積極的な実施

## JA東京厚生連

- JA東京健康管理センターを健康管理活動の拠点として、MR、CT、マンモグラフィなど高度医療機器による精度の高い健診を行い、がんをはじめとした疾患の早期発見に取り組んでいる。
- なかでも、MRを用いた脳検査を積極的に実施しており、人間ドック受診者数(令和元年度:7,083名)の約50%が脳検査を受診した。

脳検査受診者数

(単位:人)



# がん検診キャラクター「謙くん」「信くん」による啓発活動



## JA山梨厚生連

### 「謙くん」「信くん」

厚生労働省のがん検診キャラクター「謙くん」とJA山梨厚生連オリジナルのがん検診普及キャラクター「信くん」を使いつつマスコミや自治体等との連携により取組みを推進している。

ケン  
謙くん

厚生労働省の  
がん検診キャラクター「謙くん」です！

名前：謙くん（♂?）

誕生日：平成25年10月1日

所属：JA山梨厚生連がん検診普及係

長所：疲れると女の子の振りをする

短所：暑さに弱いこと

座右の銘：50%



JA山梨厚生連  
がん検診普及キャラクター「信くん」です！

シン  
信くん

謙くんと一緒に  
がん検診普及のために  
活動中だよ！

名前：信くん（♂）

誕生日：平成25年10月1日

所属：JA山梨厚生連がん検診普及係

長所：打たれ強いこと

短所：ぎっくり腰になりやすいこと

座右の銘：誠実・和・熱意



# がん検診キャラクター「謙くん」「信くん」による啓発活動

## JA山梨厚生連



甲斐市チャレンジデー  
(敷島保健センター)

参加者と一緒に体操



世界禁煙デー  
街頭キャンペーン  
(甲府駅南口)

山梨県と協力してチ  
ラシの配布



小学6年生に向けた  
がん教育  
(千塚小学校)

6年生約50名の前で  
がんについての講演  
に登場



武田の里ウォーク  
(韮崎中央公園)

ステージ上で運動指  
導士と共に

# 人間ドックの昼食に山梨県産の農産物の魅力をPR

JA山梨厚生連 山梨県厚生連健康管理センター

平成29年度地産地消等優良事例表彰 農林水産省 食料産業局長賞 受賞

山梨県厚生連健康管理センターでは、平成23年4月から人間ドック受診者へ昼食時に、県産野菜(河口湖レタス、八幡いもなど)を中心に新鮮な野菜をバイキング形式で提供し、魅力をPRしている。野菜は、県内のJA直売所を中心に集荷し、共選に出せない農作物(個選)も積極的に仕入れている。さらに食育イベント等で郷土食の紹介も行っている。



山梨県産野菜のサラダバー



本日の逸品のぶどうをPR



中秋の名月におけるイベント

# 県民の健康づくりに貢献

## JA福井県厚生連

- 市町から受託実施している特定健康診査にかかる巡回健診については、その大半を本会が担っており、組合員をはじめとした県民の健康づくりに寄与している。
- JA福井県の発足に併せ、役職員の健康管理をより積極的に展開するため、要である「産業医」を本店をはじめ各基幹支店単位に9事業場受託した。
- JA女性部とタイアップし女性のがん罹患率第1位の乳がんの早期発見と自己診断法を普及するため、乳房超音波検査を含む乳がん予防教室を開催した。

# スピーチプライバシー始めました！

## JA滋賀厚生連

問診・診察において聞かれていませんか？その会話

## 健診現場にプライバシー保護と癒しを提供

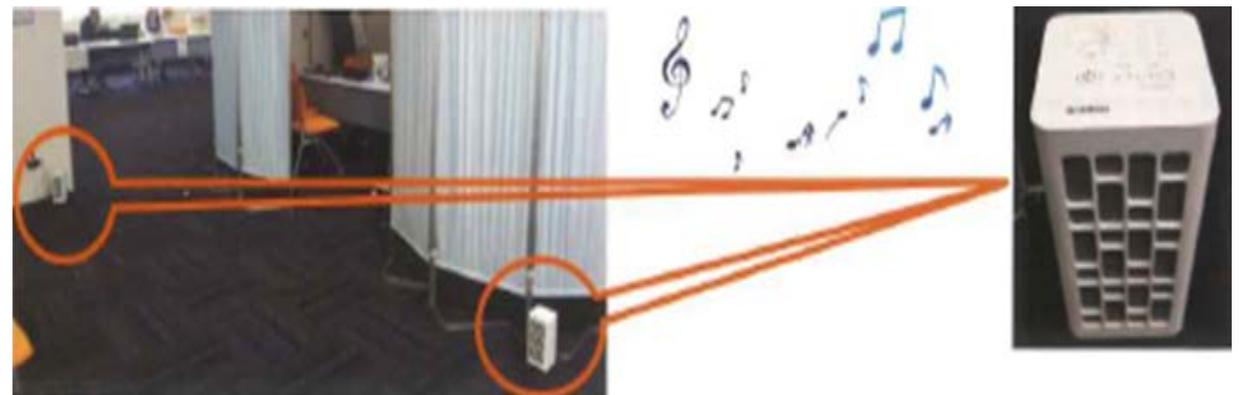
- 大がかりな工事が不要の床置きタイプで導入も容易
- 人の声を加工した音「情報マスキング音」で高いマスキング効果を実現
- プライバシーを守るだけでなく「癒しを与える環境音」としても好評

### 【環境音】

森の音・川のせせらぎ等

### 【演出音】

楽器音等



# JA組合員の健康・長寿を応援！：3B健診実施



## JA兵庫厚生連

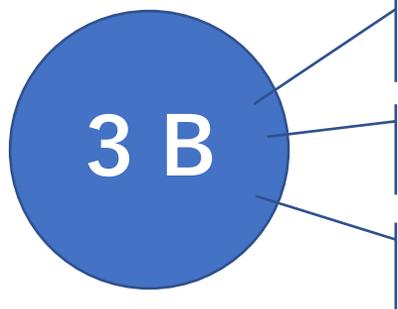
### JA直売所出荷登録者健診を無料で実施

JA組合員の「健康・長寿」を応援するため、JA直売所出荷登録者を対象に3B健診を無料で実施しています。

#### 【3B健診とは】

「認知症や物忘れ、動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞、転倒骨折による寝たきり等」の予防を目的に実施しています。

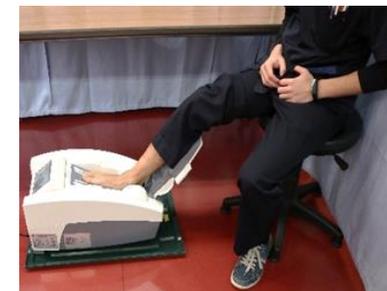
1日60人を上限とし、当日の検査結果表提供や、保健師が保健指導を行っています。



B o n e (骨)

B r a i n (脳)

B l o o d p r e s s u r e (血圧)



骨密度検査



血圧脈波検査



認知症検査

# JAグループをPR！：検診車を活用し、連携推進

## JA兵庫厚生連

### JAグループ兵庫を県内へPR！

JAグループ兵庫のPRや  
 連携推進をはかるため、  
 県内JA・特産物を掲載した  
 胃部検診車を新たに整備しました。



# 「健康管理センター」の開設や「新規取組」の実施



## JA島根厚生連

健康管理センターの完成を契機に「HPのリニューアル」や「健康体操の動画配信」、「農業者・女性部健診」等を実施

### ○ 健康管理センター新設

組合員の健康増進と情報発信の拠点となる場所を目指して令和2年4月に開設



## ○ホームページのリニューアル(情報発信)

様々な情報をタイムリーに掲載できるよう更新。新しい健康管理センターの紹介や動画配信コーナーを設けており、健康教室のテーマ(※)も紹介している。

### 【健康教室のテーマ(例)】

- ・リンパコンディショニング ～リンパマッサージで疲れない体づくり～
- ・100歳プロジェクト ～体カチェック・骨密度検査・筋トレで目指せ元気な100歳～

## ○健康体操の動画配信(新規取組)

YouTubeに「パプリカで健康体操」というタイトルで、保健師が動画を配信



## ○農業者・女性部健診(新規取組)

令和元年度より、担い手ドックを補完する位置づけとして、農業従事者や女性部員を対象に、独自メニューで「農業者・女性部健診」を実施している。



## ○今後の対応(予定)

インフルエンザ予防接種や各種検査(内視鏡検査・頸動脈エコー検査・乳腺エコー検査)の導入に向けて準備中

# JA組合員、役職員の健康を守る



## JA岡山厚生連

### 健診活動

県内各地区を巡回し、循環器・腹部エコー、胸部・胃部レントゲン、骨粗鬆症検査等をセットにした「巡回人間ドック健診」、頸動脈エコーと血圧脈波検査をセットした「動脈硬化症健診」等に取り組んでいる。

### 健康教育活動

仲間と一緒に楽しく健康づくりができるように、健康教室や料理教室、体操教室等を実施している。

# 健康増進活動を積極的に展開

## JA愛媛厚生連

### 健康増進活動

生活習慣病予防と健康維持・増進活動の充実を図るため、調理実習室・トレーニングルームを活用し、各種健康教室や特別講師による健康セミナーを開催。

良質な保健・医療・福祉サービスを総合的に提供する体制づくりに取り組むため、JA、行政、各関係団体と連携をとりながら、地域に密着した健康増進活動を展開。



### JA健康フォーラム

農家組合員・地域住民一人一人が健康管理を正しく理解、実践し、また、JA健康管理活動をサポートすることを目的として、毎年、愛媛県下で「JA健康フォーラム」を開催。



# 「コーヒー一杯運動」による乳がん検診車整備

## JA愛媛厚生連

### JA女性部の「コーヒー一杯運動」

JA愛媛厚生連における乳がん検診(マンモグラフィ)の取組みは、JA女性部による「コーヒー一杯運動」から始まった。

コーヒーを一杯飲んだつもりで部員から300円を出し合い、平成6年に乳がん検診車「さわやか号」の整備が行われた。

「さわやか号」の名前は、JA女性部に付けていただいたもので、これ以降に整備された乳がん検診車にも名前が受け継がれ、JA女性部の健康への願いをのせている。



# ISMSによる情報セキュリティ対策

## JA愛媛厚生連

### 情報セキュリティの国際規格（通称ISMS）を2005年取得

2005年9月、愛媛県の医療機関では最も早くISMS適合性評価（後にISO27001）を取得し、全国の他の厚生連に先駆けて情報セキュリティ対策を講じている。

厚生連が取り扱う情報は重要な資産であり、受診者の安心のため、より高いセキュリティ水準をめざして、各職員の意識を高めながら事業に取り組んでいる。

#### 継続的な改善の取組み

- ・ 各部署に1人内部監査員を任命し、年1回、全部署のISMS内部監査を実施。内部監査で抽出した改善事項について、各部署でPDCAサイクルを実践し、改善に取り組む。
- ・ 毎年、全職員を対象にした情報セキュリティの研修を実施。
- ・ 集合研修だけでなく、e-ラーニング(テスト形式)を年2回実施。

# 日帰り人間ドックによる総合的な健康診断

JA熊本厚生連 熊本県厚生連健康管理センター

2016年に8月に健診センターを新設し総合的な健康診断を実施

## ※人間ドック学会の機能評価認定施設

### ①健診当日の個別結果説明

当日は医師・保健師・管理栄養士による個別説明を行います。さらに生活習慣改善のアドバイス  
結果票はオプション検査も含め、後日郵送。

### ②満足度向上に向けて

経験豊富なスタッフが親切・丁寧で充実した検査を提供。

### ③健診後の充実したフォロー

健診後も引き続き医師・保健師・管理栄養士が生活習慣病の  
改善や予防を中心とした健康づくりをサポート。

### ④充実した検査内容

日本人間ドック学会が定めた検査項目に、肺年齢や心機能検査等を追加。



健康管理センターのスタッフ